

平成29年度 第1回各部会での主な意見

【にぎわい・きずな部会（6月21日）】

○「安全で安心なまちづくり（防災・防犯）」

- ・東成区は昼間人口では若い人が多いため、商店街の店主や従業員などでも、区外から来られている人が増えている。地域事情をあまり知らない方々も含めて、震災訓練に参加を呼びかける必要がある。
- ・また、中学生にも役割を持たせ、女性部は大人数の炊き出し練習をすることで、3年目には700人規模での震災訓練となったという事例が報告された。
- ・特に震災訓練は、中学生にも参加していただいて、中学校校区単位での取り組みへと進めていこう。
- ・行政も学校も防災教育支援をそれぞれ一生懸命やっているが、29年度の計画「学校園が行う防災教育の支援」に関して、地域と区と学校との連携の際に、地域の立ち位置が明確でない。もっと地域とのつながりを強めてほしい。
- ・他都市では、公園設備を災害時の炊き出しにも活用できるようにしている事例があるので、参考にしてみてもどうかとの意見があった。

○「まちの魅力向上」

- ・区役所と企業の連携について、すでに地域と企業で、ラジオ体操や防災時協力など、個別の連携事例があるが、東成全体では知られていない。
- ・今後は、区・企業・地域が全体で連携を強化していけばよいのではないかな。
- ・まちの商店街は規模が小さくなっており、工業と商業の横のつながりが少ない。今後、商業関係の芯になっていただくグループなども必要なのではないかな。
- ・ひがしなり街道玉手箱を、今後、東成区を代表する一大イベントに育てるためには、賛同企業にもわかりやすい形での事業内容や会計の報告をすることで、賛同企業を増やしていくことができるのではないかな。
- ・自分たちのまちをよりよくするためには、地域のメンバーで他都市に勉強に行くなど、他から学んでまちづくりの参考にしていこう（例：行政が関わっ

て親子で楽しめる向日葵畑（ひまわりばたけ）の迷路を作っているまちや、人は減っているが、町並みや景観がすばらしいまちなど）。

- ・東成区には公園がたくさんあるので、公園の一角を例えば夏には向日葵畑（ひまわりばたけ）にするなど、季節感のある花で埋めてはどうか。

【保健福祉部会（6月19日）】

○「緊急時安否確認（かぎ預かり）事業」「おまもりネット事業」

- ・区の報告に関連して、「この事業の利用者ではないが、最近、隣の方の姿が見えないという連絡を受け、個人的に預かっている鍵で緊急時安否確認に立ち合い、安否を確認した」という事例や、遠方に住んでいる家族が、この事業ができて安心した」という事例が報告された。
- ・また、「地域で友愛訪問したところ、一人暮らしで家族が遠方におられる方で、部屋の中でお声は元気だが、体が自由に動かすことができない方もおられた」という報告があった。
- ・かぎ預かり事業は、東成区独自のすばらしい取り組みだが、まだ知らない人、知っていても預けるのに躊躇（ちゅうちょ）する人もいるかもしれない。
- ・この事業は、周りの方が気づいていただかないとせっかく鍵を預けても役に立たないので、日ごろからのつながりが大事になる。
- ・さらには、「おまもりネット事業について、以前説明した時には、断られたが、別の時に説明したらぜひ登録したいと気が変わられた場合もあった」という報告があった。
- ・必要な方が必要な時に利用できるように、二度、三度でも個別に働きかけることが大事である。
- ・東成区では、約5,000人の一人暮らしの高齢者がおられるとのことだが、一人で不安を持っておられる方もおられると思うので、普段はふれあい喫茶など誰でも参加できる事業の紹介と併せて、地域につながっていくきっかけができればと思う。

○在宅医療・在宅療養を支援する環境整備

- ・「自分らしい最期の迎え方」というパンフレットについて、利用者（患者）を中心に医療と介護という車の両輪がうまく具合にリンクして、非常にわかり易いものである。
- ・介護と医療と、真ん中に個人の暮らしや住まいがあって、そのボトムにある地域が一緒になって、地域包括ケアシステムで進めていきたいと思いますという図なので、支え合いの中で人がつながっていく必要がある。

【こども・教育部会（6月16日）】

○「教育環境と子育て支援の充実」

- ・「子どもが育つ良好な環境整備」については、学校と地域が連携することによって良好な環境整備が進んでいる。
- ・運動会の時に、昨年熱中症で倒れる生徒が10人ほどいたが、今年は地域と学校との連携により地域のテントを15張借りて実施したことで、熱中症対策など健康管理において大幅に改善することができた。
- ・一方、学校協議会において、学校教育の年度の方針については、地域も把握できるが、学校の運営だけでなく、学校が区に要請している情報などがあれば、保護者や地域を交えての意見交換ができないか。
- ・地域と学校とがしっかりと関わりを持つうえで、区は大きな存在になると考える。地域でできることもあるので情報を提供してほしい。
- ・「みんなdeスポーツ」は、今年初めての事業なので、やってみないとわからないが、子どもたちはスキルを高めるために来ているので、始まる前と後にタイムを計るなどして、結果が出るなら子どもたちの自信になるし、次年度以降に参加したいという方も増えるのではないか。

○「子育てネットワーク構築支援事業」

- ・身近な地域で気軽に子育ての相談できる人がいると回答した85%の数字は、非常に高い数字である。一方、身近に相談できる人がいない15%の方々はど

うしてそう感じているのか。アンケートでは具体的なことを聞いてみるなど、数字を高める努力も必要ではないか。

- ・ 区民にとって身近な地域で気軽に子育ての相談できる人はいろいろあるが、主任児童委員の存在について、まだ知らない方もいるのではないか。
- ・ 区からの情報を読んでいない人にも、いかに知っていただくかという観点で周知を考えてほしい。
- ・ 保育所待機児童の解消について、耐震面など難しい点もあると思うが、有効活用できるものがあれば考えてほしい。